



ゆらめく煙は秋の色

文・高橋 亘 絵・伊藤 栄一

さとのうた

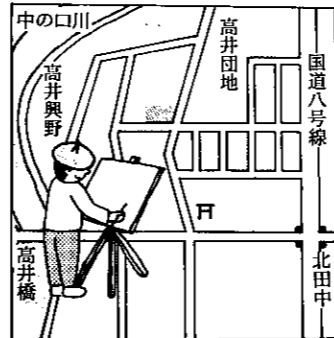
いまもわずかに残るくんたん 焼きの煙を見ては思い出す。 稲刈りを終えて一段落。収穫の喜びをこの煙に求め、一年間の苦勞をいやしてくれた。しか

し、息をつく間もなく、出稼きのしたくをする。もみがらを集めてのくんたん 焼きは、老人と子どもの仕事。軒先のあちらこちらから立ちのぼる薄水色の煙は、秋の色、秋の香り。こののどかな風情を、いまは

追い求めることはできない。機械植えとともに、苗代や筋まきにくんたんはいらなくなり、いまでは機械植えの土に混ぜるほどとなってしまった。



高橋 亘さん (北田中)



森山智里くん(1歳) 千里さんの長男(桜町)

わが家のアイドル

「とてもわんぱくなんです。人見知りしないで、だれのところへも行くんですよ。バナナが大好きでも、ご飯をあまり食べないんです」(母親・美智子さんの話)



十一月三日の青年の祭典で、初めてのコンサートの自然と練習にも熱が入ります

市内初の本格的バンドをめざして

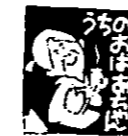
白根青少年吹奏楽団

市内で初めての市民参加による吹奏楽団が、初公演をめざして練習を積んでいます。白根青少年吹奏楽団(伊藤栄一団長)は今年四月に結成。高校生四人を含め、団員は二十八人。十五歳から二十六歳までの若いバンドです。半分以上は高校生時代に吹奏楽を経験した人たちですが、初めて楽器を手にする人たちも一生懸命がんばっています。年一回の定期演奏会の開催と全日本吹奏楽コンクール出場を当面の目標としているそうです。来年からは、市内の行事にも積極的に参加し、市民に親しまれる吹奏楽団にしていきたいと語っていました。得意なレパートリーは、クリスマスソングメロディほか、いまのところ二曲だけですが、み



【会員の声】 米山直子さん (会社員・みの口)

んな一生懸命です。曲数を増やすのは時間の問題でしょう。練習は週二回、午後六時三十分から午後九時まで、教育委員会研修室で。入団希望の方は、鶴巻裕美さん(高井野・☎26267)へお問い合わせください。広報しろねで団員募集の記事を見て、入団しました。中学時代三年間だけ吹奏楽部でクラリネットを担当していましたが、フルートは初めてです。とても楽しいですけど、なかなか上達しなくて...。この楽しい雰囲気大切に、すばらしいバンドにしたいですね。



歌と踊りが大好きなおばあちゃん

茨曾根小学校3年 小山正勝

ばくのおばあちゃんは、歌と踊りが大好きで、歌をうたいながら内職をしています。せんたくや畑仕事もするので、とってもしそがしそうです。テレビを見ているときは、すぐ眠るくせがありますが、歌や踊りの番組になると、目がぱっちりします。

ばくが、テストで百点をとると、おばあちゃんは喜んでお金をくれます。写真は、正勝くんとサキさん(六十一歳・道場)

集めていきます

参加しませんか

募集します

休まず

白根地区

広報 しろね

11 昭和55年 月1日号 No.290

毎月1・15日発行

発行/白根市役所(大字白根1235 ☎0253②2111 〒950-12)

◇人口の動き 10月1日現在 人口33,660人(前月比+26) 男16,388人 女17,272人 世帯数 7,501

情報

読者の説明 どの号も 内容が 変わります 問い合わせ

情報提供は ☎73-2111②297へ

ズームアップ 伝統的工芸品に新潟・白根仏壇 2~3
一枚のハガキを追って 白井バイパスを考える 4~5
茨曾根小学校移転改築 子らへ最大のプレゼント 6~7
市民談話室 なくしたい白根時間 8~9
あの日あのとき 活気あふれる白根の表玄関 10~11
まちの話題 市民大学講座に絶賛の声ほか 12
市政の動き 「ハガキで市長と話そう」から 13
ご利用を 産業厚生会館 14~16
市民の広場 チビっ子画廊/市史よもやま話/市民文芸/白根青少年吹奏楽団/情報センター297